

# JCRメンバーズベネフィット委員会 働き方改革委員会

## 活動報告

## 日本医学放射線学会JRSとの共同活動：

### JRSダイバーシティ推進・働き方改革委員会 and JCRメンバーズベネフィット委員会/働き方改革委員会

働き方改革を放射線科医の働き方改革を推し進めるにあたり、JCR委員会単独では会員全体へのベネフィットに繋げることが難しい場合も考えられる。

そのため、JRSダイバーシティ推進・働き方改革委員会と共同で活動を進めていくことにより、より広く会員へメリットを届けていく。

# 現在進行中の活動

# タスクシフト

- 2017年8月に「**医師の働き方改革に関する検討会**」が厚生労働省に設置され医師の労働時間短縮のため、他の医療専門職種との連携によるチーム医療の推進が求められることとなり、**医師から他職種へのタスク・シフト/シェアを推進**していくことになった。
- 本委員会では、医師⇒放射線診療技師へのタスクシフトを円滑に進めるための啓発活動、今後はその具体的指針等の作成に携わる予定

# 放射線科関連のタスクシフト内容

## 概要

- ▼CT・MRI検査、RI検査、IVR、消化管透視検査、超音波検査の各部門においてシフトされる内容がある。
- ▼放射線科医の業務の多くを占めるCT/MRI/RI検査については、静脈確保と薬剤注入、抜針を診療放射線技師が可能となる。
- ▼IVRの手技、技師画像報告に関しては、今後、日本医学放射線学会・IVR学会・日本放射線科専門医会が日本診療放射線技師会と合同で、シフト内容を含めた指針を作成する。

# これまでの主な活動記録

# 1, 働き方アンケートのまとめと厚労省への提言

2018-2020年

# 「放射線科 働き方改革アンケート2018 日本医学放射線学会および日本放射線科専門医会・医会 による合同調査」

放射線科における働き方改革を推進するための会員アンケートを施行。結果のまとめと同時に、結果から見えてきた今後の放射線科医の働き方に関する提言をまとめた。

- ・ JCR会員向け、JCRニュース別冊発刊
- ・ JJRへの投稿





# 放射線科 働き方改革アンケート結果

## 2018

日本医学放射線学会および日本放射線科専門医会・医会による  
合同調査



### 目次

はじめに	1
放射線診断専門医アンケート結果	2
修練・総合修練・特殊修練施設管理者アンケート結果	17
考察	45
おわりに	49

- アンケートはJRS会員、及び研修修練施設の部長宛て、施設ごとのアンケートの2本を施行。
- 1192名、275施設から回答を得た。
- 結果を小冊子にまとめ、会員へ送付。



## Work-style reform and use of information and communication technology among diagnostic radiologists in Japan: results of the 2018 JRS/JCR joint survey

Tsuneo Yamashiro<sup>1,2</sup> · Kanako K. Kumamaru<sup>3</sup> · Aki Kido<sup>4</sup> · Roka Namoto Matsubayashi<sup>5,6</sup> · Hideki Ota<sup>7</sup> · Masahiro Ida<sup>8</sup> · Shigeki Aoki<sup>3</sup> on behalf of the Joint Committee for Diversity Promotion and Work-Style Reform of the Japan Radiological Society and the Japanese College of Radiology

Received: 19 February 2020 / Accepted: 26 February 2020 / Published online: 17 March 2020  
© Japan Radiological Society 2020

アンケート結果をJJRに報告。

# 放射線科 働き方改革 提言

2018年12月

公益社団法人 日本医学放射線学会

一般社団法人 日本放射線科専門医会・医会

- アンケート結果から考察された今後の放射線科学会の推進する方向性を提言としてまとめた。

## 【提言】

- I. 放射線診断専門医・放射線治療専門医の数・質の拡充
  - (1) 多様な状況においても継続可能な、専門医トレーニング制度の確立
  - (2) 適切な指導環境の整備・指導者の配置
  - (3) 指導者・教育者への適切な評価
- II. 多様な勤務形態の推進
- III. 効果的な地域連携の推進
  - (1) X線CT、MRI等の大型画像診断機器の共同利用推進
  - (2) 地域医療支援病院等の機能強化
  - (3) 人材シェアシステムの構築
- IV. 人工知能 (artificial intelligence : AI) の活用
- V. 画像診断・放射線治療の最適化・正当化の教育と推進
- VI. 放射線科業務ワークフローの改善
- VII. 上記に対する、診療報酬による適切な評価

- 2019年2月13日厚労省医政局長吉田学氏に自見はなこ先生同席の下、提言、アンケート結果白書を提出



# 提言までの足取り(抜粋)

## 働き方改革キックオフミーティング (JRS,JCR合同)

日時：2017年9月29日(金) 10時～12時

会場：AP品川7 FX-1,2

出席者：青木茂樹先生 (JRS、順天堂大)、隈丸加奈子先生 (JRS、順天堂大)、井田JCR理事  
長、村上康二先生 (JCR、順天堂大)、川上剛先生 (JCR、慈恵医大)、松林 (名本) 路  
花先生 (JCR、国立病院機構九州医療センター)、木戸 (JCR、京都大)

## 日本医学放射線学会・日本放射線科専門医会

### 働き方改革に関する医政局医事課面談

日時：2018年2月20日(火) 10:00～

場所：厚生労働省医政局医事課

出席者：青木茂樹先生、井田正博先生、隈丸加奈子先生、松林 (名本) 路花先生、大田英  
揮先生、木戸

# 2, 研修医の都道府県別・診療科別の採用数上限（シーリング）対策

2019年

- **シーリングに対する意見書の取りまとめ**
- 2019年4月21日 厚労省、専門医機構による「シーリングに関する検討会」開催前の対応として、JRSダイバーシティ推進委員会と共に、JASTRO、IVR学会の先生方にもご協力頂き、放射線科意見書を取りまとめた。

2019年4月17日 医事課訪問

2019年4月19日 専門医機構訪問

今井裕先生、青木茂樹先生がご説明。JCRからは名本先生、大田先生が参加

### **3, JRS学術集会（春季・秋季）時における親子視聴室 設立に関する要望書（2020年3月24日）**



学会における「託児室」はかねてより設置されていたが、女性医師の増加に伴い、申し込み開始より間もなく満席の状態となる状況が続いていた。

第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会で初めて親子視聴室が開設され、利用状況も高く、好評であった。

今後の利用者増加も見込まれ、学会理事会へ要望書を提出した。

# 要望内容

専門医更新に必要な領域講習の単位を獲得可能な親子視聴室の開設をJRS学術集会において恒常的に設置することを要望する。

## 具体的項目

- 視聴用端末、視聴室の確保。(視聴室については、飲食の許可)
- 同視聴室利用での単位認定の許可

⇒2020年4月理事会にて承認。

## 4, JRS学術集会（春季・秋季）時における 女性座長増員に関する要望書の提出

（2021年4月9日）

• **2020年度春季総会における座長男女比率調査**  
 (青木理事長のご厚意による)

セッション名		座長合計	男性		女性	
1	シンポジウム	57	49	86.0%	8	14.0%
2	JCRアワー	2	2	100.0%	0	0.0%
3	イメージインタープリテ	2	2	100.0%	0	0.0%
4	特別企画	4	3	75.0%	1	25.0%
5	研修医セミナー	3	2	66.7%	1	33.3%
6	教育講演	39	38	97.4%	1	2.6%
7	一般演題 (口演)	42	40	95.2%	2	4.8%
8	一般演題 (電子ポスター)	29	27	93.1%	2	6.9%
合計		178	165	92.7%	13	7.3%

			合計	男性		女性	
1	指定演題	司会	117	106	90.6%	11	9.4%
2		演者	248	204	82.3%	44	17.7%
3	一般演題	司会	71	67	94.4%	4	5.6%
4		演者	339	267	78.8%	72	21.2%
		合計	775	644	83.1%	131	16.9%

放射線科医の25%を女性が占める状況である。

座長比率は年齢による分布の違いはあるものの、10%に満たない。

今後、臨床・学術両面において放射線科領域を発展・継続させるためには、学会全体として多様性をもった活動を持続していくことが必要と考え、要望書を学会理事会へ提出。

## 要望内容 (2021年4月9日)

「JRS学術集会において座長の女性比率20%を目標に配置されることを要望する」

⇒2020年4月理事会にて承認された。

また、座長選出のための**女性座長候補リスト**を当委員会委員、日本放射線科専門医会メンバーズベネフィット委員会委員、各専門修練施設からの推薦により作成

# 過去の講演会

# 2021年第57回日本医学放射線学会秋季臨床大会 JCR アワー 2021

## 「あなたの施設の」タスクシフトを成功させるために

日時：2021年9月19日（日） 9:20～11:20

座長：大野和子（京都医療科学大学）、木戸晶（京都大学）

演者：

1. 瀧 翔哉先生（厚生労働省 医政局医事課 担当官）
2. 上田 克彦先生（国際医療福祉大学／日本診療放射線技師会会長）
3. 山田 恵先生（京都府立医科大学／JCR理事長／JRS 理事）
4. 原田 貴子様（倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 看護部 放射線センター）



**2021年4月16日日本医学放射線学会総会  
特別企画：「JRSダイバーシティ推進・働き方改革委員会および  
JCR 共催企画」働き方改革特別講演**

座長：真鍋 徳子先生、山城 恒雄先生

**2024年医師総労働時間規制問題について**

厚生労働省 大臣官房人事課

安里 賀奈子 氏

**在宅勤務について**

倉敷中央医療機構倉敷中央病院 放射線診断科

小山貴 先生

京都府立医科大学 放射線診断治療学

赤澤 健太郎先生

**2020年4月10日 日本医学放射線学会総会  
特別企画：「JRSダイバーシティ推進・働き方改革委員会および  
JCR 共催企画」働き方改革特別講演**

座長：城戸輝仁（愛媛大学）、山城恒雄（横浜市立大学）

ダイバーシティについて

放送大学長崎学習センター所長

伊東昌子先生

在宅勤務導入のシステム構築について

兵庫県立淡路医療センター副院長

久島健之先生

# 2020年 第33回 JCRミッドウィンターセミナー 女性医師支援（日本医師会共催）

座長 井田正博（水戸医療センター）、松林（名本）路花（九州医療センター）

## • 外科医として生きてきた道

久留米総合病院院長 田中真紀先生

## • 放射線科医の未来の働き方—多様性の時代—

立命館アジア大学学長 出口治明先生

# 2019年JCR ミッドサマーセミナー 日本と放射線科医療のNEXT～変革の時代に～

座長 井田正博(水戸医療センター)、松林(名本)路花(九州医療センター)

2040年を展望した医療行政の取り組みについて 参議院議員 熊野正士先生

ダイバーシティ推進と連動した医師の働き方改革を目指して

九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授

九州大学病院 循環器内科,

きらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長

樗木晶子 先生

放射線科働き方改革アンケートから見たこと

琉球大学放射線科 講師 山城恒雄

**2019年4月日本医学放射線学会総会  
特別企画：「JRSダイバーシティ推進・働き方改革委員会および  
JCR 共催企画」働き方改革特別講演**

日本医療へ現状と今後、寄与の方策等

座長 大田英揮先生（東北大学大学院医学系研究科 先進MRI共同研究講座 准教授）

医療の世界の底力～女性医療職エンパワメント推進のための職場環境改善～

藤田医科大学腎泌尿器外科臨床教授 佐々木ひと美 先生

JRS/JCR「働き方改革アンケート」と厚生労働省への提言～本邦の医療の現状と放射線科医の果たす役割～

松林（名本）路花 先生

# 2018年 JCRミッドウィンターセミナー

## 女性医師支援(日本医師会共催)

座長 井田正博 (荏原病院)、松林 (名本) 路花 (九州医療センター)

➤ 医師も辞めない病院とは～イクボスマネジメント

徳倉康之 (株式会社ファミリーエ 代表取締役社長)

➤ 働き方改革における説明責任

森田茂樹 (九州医療センター 病院長)

# 2018年 JCR ミッドサマーセミナー ”放射線科医のダイバーシティを考える” ～地域連携の可能性と今後の展望～

講演座長：木戸 晶 (京都大学)

シンポジウム座長：松林 (名本) 路花先生 (九州医療センター)

放射線科におけるダイバーシティ

京都府立医科大学 山田恵先生

放射線科診療における働き方とエンパワーメント：

放射線治療医・女性医師の立場から

鳥取大学 内田伸恵先生

地域連携の可能性と今後の展望：ICTを用いた東北大学の取り組み

東北大学 大田英揮先生

# 2018年4月日本医学放射線学会総会 JRS男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会および JCR共催企画

セッションタイトル：

**働き方改革：自分らしく働くために**

**Work Style Reforms to Help Everyone Work in One's Own Ways**

## 【講演】

座長：木戸晶（京都大学）

演者：**MSD株式会社 人事部門 タレントマネジメントグループ ディレクター 戸村玲子**

講演タイトル：ダイバーシティ&インクルージョンと働き方改革/ Diversity & Inclusion, and Work Force Innovation

## 【パネルディスカッション】

テーマ：多様な働き方を実現するためのポイントとは

ファシリテーター：隈丸加奈子（順天堂大学）

パネリスト（敬称略）：戸村玲子（MSD）、栗山啓子（大阪医療センター）、南学（筑波大学）、木戸晶（京都大学）、佐藤明弘（仙台医療センター）、岡田卓也先生（神戸大学）



# その他の活動

# 2018年 JCRミッドウィンターセミナー Womens' Radiologists座談会

- 日時：2018年1月27日（土） 15：10～16:30  
場所 福岡国際会議場4階405 + 406会議室

## 【ファシリテーター（順不同、敬称略）】11名

- 隈丸加奈子（順天堂大学 准教授）、吉村真奈（東京医科大学 教授）、松林（名本）路花（国立病院機構 九州医療センター）、武輪恵（奈良県西和医療センター）、上野雅子（福岡和白病院）、原田詩乃（国立病院機構 九州医療センター）、久富栄子（国立病院機構 九州医療センター）、江頭玲子（佐賀大学）、山内智香子（滋賀成人病センター）、笠原誓子（市立大津市民病院）、木戸晶（京都大学）

## （オブザーバー）

入江 芙美（厚生労働省大臣官房厚生科学課長補佐（育児休業中）・元九州厚生局医事課長）

2018年～

- **JCR**ホームページ上に“放射線科医師（とくに女性医師）就労等に関する情報コーナー”を開設

2018年12月

- 「女性医療職エンパワメント推進議員連盟」決議文の厚生労働大臣への提出